

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年5月20日

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 2772001539 |
| 法人名 | アライヴ株式会社 |
| 事業所名 | グループホームあいむ |
| 所在地 | 大阪市住吉区南住吉2丁目6番2号 (電話) 06-6695-5502 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 |
| 所在地 | 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内 |
| 訪問調査日 | 平成 20年 4月 21日 |

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|---------------|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 平成 16年 10月 1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 21人 | 常勤 | 6人, 非常勤 15人, 常勤換算 9.6人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 3階建ての | 2階 ~ | 3階部分 |

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|---------|---|
| 家賃(平均月額) | 72,000円 | その他の経費(月額) | 24,000円 | |
| 敷金 | 有(円) ③ | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | ④ (300,000円) | 有りの場合 償却の有無 | ④ / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,200円 | | | |

(4) 利用者の概要 (平成 20年 10月 1日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 3名 | 女性 | 15名 |
| 要介護1 | 5名 | 要介護2 | 7名 | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 1名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 83歳 | 最低 | 71歳 | 最高 | 92歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------------|
| 協力医療機関名 | 長居クリニック、矢木脳神経外科病院、弘善会病院、尾島歯科医院 |
|---------|--------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

アライヴ株式会社グループホームあいむとして開設4年目を迎え、「わたしもみんなも一緒に楽しい生活」を理念として、施設長、管理者をはじめ職員全員で寄り添うケアを実践しています。最寄り駅にほど近く、せせらぎの遊歩道のある閑静な住宅街に立地しています。町内会・老人会の清掃活動に参加しており、町のイメージアップにつながっていると地域からも好意的に受け入れられています。居室は全室にベランダあって、洗面所やクローゼットがあり、風通しも良く、持ち込まれた家具が配置されています。中には電話をつけられ家族との交信に使用されている方もあります。食堂は壁面に高低を考えたキッチンが2ヶ所あり、利用者の背丈に合わせて工夫しています。食材は近隣のスーパーへ毎日買い出しに出かけ、3食共ホーム内で手作りしています。利用者も当番制で職員と出かけて旬の物を選んで食べる喜びを共有しています。利用者同士も良い関係を築きながら支え合い、「何事に対しても」意欲をいかに持っていただくかと一層の自立支援に向け日々実践しているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の改善項目について、外出者に対しては身分証(住所、電話番号、困難時の連絡依頼を記入)を携帯していただきながら、電子ロック暗証番号の提示を行うことを数ヶ月にわたり実行する等、施錠の解除に向け取り組みました。しかし、この間外出し道に迷われた方もあり、再度安全な開錠のあり方について家族とも話し合っています。現在では、基本的に日中は開錠に至っています。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については全職員が項目毎に目を通し、意見を出して、管理者や施設長がまとめて記入しています。パート職員にも伝達しています。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議ではホームでの生活報告、行事報告をしています。認知症ケアの事例報告等活動内容の評価も議題にしています。区社協のイベント情報を教えてもらったり、セミナーや研修の案内また生活状況の見学も行っています。昼食の試食を運営推進委員の方に実施してアンケートに答えてもらって結果を活かす取り組みもあります。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来訪時には近況を伝えるとともに家族の相談にも応じています。毎月1回職員が手書きで利用者一人ひとりの近況を記し、写真も送っています。また、小口現金については支出明細と領収書も同封しています。 |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自治会、老人会に加入して回覧が回ってくる関係作りをしています。月に1回地域老人会の清掃活動や地域の盆踊りに参加しています。買い物は近所のスーパーへ毎日出かけています。近隣の理髪店や酒屋も利用しています。ホームの周辺の掃除を朝夕に行ない、地域住民と挨拶を交わす関係作りができています。 |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|----|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「わたしもみんなも一緒に楽しい生活」を基本理念として掲げ、地域のグループホームとして、お年寄りとその家族のために、人々のために、地域社会のために、健全で安らかな生活を提供し、老人福祉に貢献することを通じて、職員の幸福につながることを目指しています。 | | |
| 2 | 2 | ○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念については掲示もあり、月例会議でも話されており、職員にも浸透しています。入社時にはグループホーム介護の基本ビデオと共に、理念に照らし合わせた理解を深めるよう取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている | 地域の自治会、老人会に加入し、回覧が回ってくる関係作りができています。毎朝、近隣の清掃活動に参加して挨拶を交わし、毎月の町内会の清掃活動には必ず参加して顔なじみになっています。町内の盆踊りには利用者全員で参加しています。「ホームの存在が、町のイメージアップにつながっている」と好意的に受け入れてもらっています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 代表者と管理者は、外部評価の意義を理解しており、職員の意見も聞きながら自己評価を完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。前回の外部評価受審後、改善計画を立てて実行し、その後、検証を行い迅速に改善へ向けて取り組んでいます。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の規定が明文化されています。メンバーには地域包括支援センター職員・民生委員・家族代表・職員が参加し、2ヶ月に1度開催しており、日常生活の報告、行事や認知症ケアの事例報告で意見交換がありました。会議の後、委員の方に、昼食の試食をしてもらい献立やサービス向上に活かしています。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 区の担当者には運営推進会議にも参加してもらっており、区社協にも困った事などを相談しています。外部評価の結果も1ヶ月以内に区に報告し、事故報告も適切に行なっています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族来訪時には近況を伝えると共に相談にも応じています。毎月1回近況報告やお知らせと共に写真も送っています。また、小口現金については支出明細と領収書も同封して送付しています。個別の金銭出納簿も作成し、毎月家族の確認印とサインを得ています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の面会は多く、家族の来訪時に職員は近況報告をして要望も聞き、また家族は気軽に職員と話ができています。意見箱もあり、運営推進会議には家族も参加しています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 開設時の職員の大半が継続して勤務しています。新規職員は、1ヶ月ほど、先輩職員とのOJT（実務教育訓練）期間を設け、介護方法だけでなく、利用者とのコミュニケーションをとり、馴染みの関係づくりにも配慮しています。家族への紹介について掲示コーナーを設け、全職員の写真と名前を掲示し、家族にも周知しています。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 入社時研修をし、その後、順次外部研修に参加しています。2年目の勤務者は「大阪市認知症実践者研修」を、3年目の勤務者は「介護福祉士」受験を支援しています。事業所内では、月例会議・パートミーティングや職員勉強会を開催して『緊急時対応』『認知症』『感染症』の研修もしています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 住吉区事業者連絡会施設部会で情報交換をしています。大阪市グループホームネットワーク学習会や全国グループホーム協会にも加盟しており同業者との交流もあります。また他県のグループホームで研修を行い、サービスの質の向上に取り組んでいます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用希望者や家族がホーム見学に来られた時は、おやつ時間に、利用者や職員とも接してもらい、雰囲気を感じてもらえるようにしています。入居後はしばらく家族と密接に連絡し合い、不安を取り除けるよう配慮しています。また、入居時は居室に電話を引くことができます。携帯電話をもっている利用者は、自由に使ってもらっています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理の味付け、手芸や裁縫、お手玉の作り方、あやとり、歌、プランターでの野菜作り、ぬか漬けの作り方などを教わっています。食材は毎日交代で買い物に行き調達しています。食事の際に使用するランチョンマットをミシンで作った利用者もいます。自身でお小遣い帳をつけている方もいます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のかかわりの中で、利用者の思いや意向の把握に努めています。利用者の言葉や表情から読み取ったり、確認したりしています。意思疎通の困難な方には、家族や関係者から情報を得て、入居に至るまでをケース記録に記述しています。散髪に行きたい方は馴染みの店に行ったり、好みのおやつを買ったり、酒屋にビールを買いに行ったりと利用者の希望に沿った支援をしています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 全職員の意見や気付きを収集し、介護計画を作成しています。アセスメントシート、利用者の生活歴、ライフスタイルについての記載事項を参考にし、利用者や家族の望む生活を聞き取って計画に取り入れています。作成した介護計画は利用者や家族の同意のサインを得ています。職員は毎日申し送りで必要な情報の伝達と確認を行っています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画については3ヶ月から6ヶ月ごとに見直しを行っています。目標については、日々の記録や必要に応じたミーティングでの話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録もきちんと取っています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用） | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている | ショートステイや、共有デイサ ービスも、体制が整い次第実 施の予定です。利用者は家族 と外食や旅行にも行っていま す。近隣住民の介護相談に応 じることもあります。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している | 精神科に月1回、内科に月2回 、歯科は必要な時に受診し ています。かかりつけ医の受診 の支援もしています。総合ホ スピタルにも外来受診を行い 、受診記録を残すことにより 急変時の入院に備えています 。年に1回は定期健診を受け ています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い 段階から本人や家族等ならび にかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している | 重度化した場合の対応につい ては、入居時に家族へ説明し 、重要事項説明書にも対応方 法の記載があります。重度化 した場合は、利用者や家族の 意向を聞き、主治医とも話し 合っています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図るよう心がけています。また、日々の介護場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。利用者の誇りやプライバシーには注意を払い、職員の言葉使いも丁寧です。個人情報保護の規約など、事業所と職員間で取り交わしています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の中にはアルコールが好きな方もおり、ビールを自分で買いに行き毎晩少量飲まれたり、薬用酒を飲んで安眠されたり、朝夕の新聞を取りに行ったり、毎日般若心経を唱えたり、仏壇に水を供えたりされる方がいます。好きな歌手の写真を居室でたくさん飾り、毎週ビデオを録画し、楽しんで聞いています。それぞれに自分の好きなことや希望を叶えながら過ごしています。中には自分の一日の日課を壁に貼り、自分の計画に沿って生活される方もいます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎日、近隣のスーパーまで利用者と一緒に買い物にも出かけています。食事は3食ともホームで作っています。準備や片付けを利用者と職員が行い、食事は職員も一緒に摂っています。献立も利用者の意見を取り入れています。食器洗いは、2人一組で行い、背の低い方は踏み台を使用しています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | お風呂は毎日湧かしており、週3回は入ってもらえるように支援しています。一番風呂を好まれる方や夕方に入りたい方など、希望に応じた対応しています。入浴ができない方には足浴や清拭をしています、また柚湯などを楽しんでもらう時もあります。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 職員は利用者の生活歴や性格、個人の楽しみを把握して支援しています。利用者の中には玄関の花の水やり、外回りの朝夕の掃除など、日課として楽しまれています。また食材の買い物や散歩、調理の手伝い、片付け、洗濯物たたみ、新聞取りなど、それぞれ楽しみや役割があります。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者は毎日当番を決めて、徒歩5分のスーパーへ食材の買い物やおやつを買いに出かけています。歯科や理髪店に一人で出かける利用者もいます。また近くにせせらぎの遊歩道があり、そこは交通量も少ないため安心して散歩を楽しまれています。家族と外食や自宅での外泊、旅行に行かれることもあります。また法事や墓参りには家族の方と出かけています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 前回の外部評価で示された施錠に関しては、開錠に向けてホームの構築会議で協議し、テンキーの暗証番号を表示し、利用者が事故に繋がらないように、外出時は身分証を渡したり、所持金と購入予定品を話しあったりしています。利用者が長時間戻らなかった例もありますが、大きな問題はなく推移しています。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回、消防署の協力を得て利用者も全員参加して消火・避難訓練を行っています。非常口の鍵は、すぐに開けられるように鍵を近くに置いています。運営推進会議でも地域の協力について話し合いが行われています。非常食品の備蓄は数日分あります。水は、隣接する本社ビルの屋上のタンクの水を使用予定です。地震等にも備えて、水はペットボトル等の容器にも保存することが期待されます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量については記録しています。利用者の好みや栄養バランスを考え献立しています。調理師がそれぞれに必要なカロリーを把握しています。おかずやみそ汁、ご飯のおかわりは自由です。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホーム周辺にはお花が植えられ綺麗に咲いています。エレベーターホールにシルバーカーが置かれて外出に備えています。台所には高低のあるシンクが2ヶ所あり、利用者が二人並んで食器を洗う様子が見られました。リビングにはソファやベンチの他にたたみのスペースを設け、それぞれが好きなどころでゆっくりくつろげるような工夫があります。トイレは車椅子対応で広めにとっています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室には洗面所やクローゼットが備え付けられています。全居室にはベランダもあって風通しに工夫があります。自宅で使っていたテレビやタンス、鏡台、仏壇、写真などが配置され、くつろいだ雰囲気があります。自室で日記を書かれている方、お花を育てて水やりが日課となっている方もいます。 | | |